



会議議事録

会議名	2019年度 第1回 障害児・者支援検討委員会 会議
-----	----------------------------

開催概要

開催日時	2019年 5月 18日(日) (10:00 ~ 12:00)
開催場所	事務局会議室 (千代田寿ビル3階)
出席者	担当常務理事/委員長: 藤田 正明 副委員長: 田代 桂一 委員: 天野 純子、池上 敏幸、菊地 尚久、佐藤 浩二、島田 永和、田中 康之、 西村 一志、欠席: 小倉 雅、三澤 一登

議事内容	
1. Web 会議について	今後、ZOOM. US を用いた Web 会議を利用し効率的に会議を開催してゆく。事務局より手順等連絡があるので協力を願いたい。
2. 高齢者包括的運動器プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事録内容確認後、島田先生諸説明。 ・ プロジェクトの名称に包括の用語を用いた意味について、骨折で入院した患者において下肢骨折手術歴、変形性関節症手術歴、椎体骨折手術歴、脊柱変形手術歴、脊柱管狭窄症手術歴がある場合、FIM 等の改善度に差があるか分析したい。差があれば単に主病名の骨折の治療、リハだけでは不十分であることの根拠となり、広く生活機能を高めるアプローチが重要との啓発できる。 ・ アンケート用紙の項目確認 <ul style="list-style-type: none"> * 患者名 (イニシャル) 削除 * 2-1) 人工関節置換術 2 項は削除 * 4) の併存疾患とは別に 5) として下肢骨折手術歴、変形性関節症手術歴、椎体骨折手術歴、脊柱変形手術歴、脊柱管狭窄症手術歴の有無を追加 * 骨密度の測定部位の明記 * 6-1) 退院先自宅の名称を在宅に変更 * 回答項目の選択肢に「なし」、「不明」を追加 <p style="text-align: right;">→アンケート用紙の修正は島田先生が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート対象施設・病棟は会員病院で回り八病棟の入院患者とする。 ・ 記載項目が多く後向き調査のため期待する回答率が得られるか。回収率をあげるには調査項目数をもう少し絞る必要があるのではないか。 ・ 頸部骨折患者は回り八病棟ではなく地域包括ケア病棟で対応している施設もある。 ・ 調査対象患者の年齢は 65 歳以上とする。 ・ 調査に際して、協会として倫理委員会を通しておく必要があるのではないか。 <p style="text-align: right;">→本件に関しては藤田委員長調整する。</p>



3. 障害児のリハビリテーションについて

- ・高齢者包括的運動器プロジェクトと障害児のリハの 2 つのテーマに取り組むにあたり本委員会を二班に分けて行いたい。(本件についてはこれ以上の議論なし)
- ・2019年3月20日の全国リハビリテーション医療関連団体協議会第一報酬対策委員会においても障害児のリハの議論がされている。また日本小児科学会も同様の調査を行っており、タイミングは良い。
- ・発達障害が今の社会ニーズの中心ではないか。
- ・発達障害に関わっている当協会の施設は少なくデータが集まりにくい。
- ・肢体不自由、特に脳性麻痺者が高齢化して行く中で、どこで、どのようにフォローされているか不明である。リハセンターは18歳を超えると成人対象となるのでフォローしていない。
- ・対象疾患は、肢体不自由、発達障害があるが、まずは肢体不自由を対象疾患として取り組む。
- ・当協会施設を対象に本テーマで調査してもデータの集まりは低いと思われる。当委員会で提言する方向が良いのではないか。
- ・6月30日までに委員は、各ルートを通じて肢体不自由児・者の施策上の問題点等を取りまとめ佐藤浩二まで報告する(障害児・者支援検討委員会のMLにアップする)。佐藤はそのとりまとめを行う。
- ・次回委員会で議論を深める。

次回会議：7月10日 18:30～ ZOOM 会議予定

次回予定	2019年 7月 10日 (水)	開始時刻 (18:30	終了時刻 ～ :)
------	--------------------	----------------	---------------

議事録作成日	5月18日	議事録作成者	佐藤浩二
--------	-------	--------	------

委員会議事録は理事会資料として提出します。

会議終了後、1週間以内にメールで事務局へご提出ください。[提出先：info@rehakyoh.jp]